

REGZA

3.1ch

レグザサウンドシステム

取扱説明書 機能操作編

形名 TS3100Q

「安全上のご注意」、「設置」、「使用上のお願いとご注意」などについては、製品同梱の取扱説明書をご覧ください。

このたびは 3.1chレグザサウンドシステムをお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。

お求めの商品を安全に正しく使っていただくため、お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みください。

ご使用前に、製品同梱の取扱説明書の「安全上のご注意」を必ずお読みください。

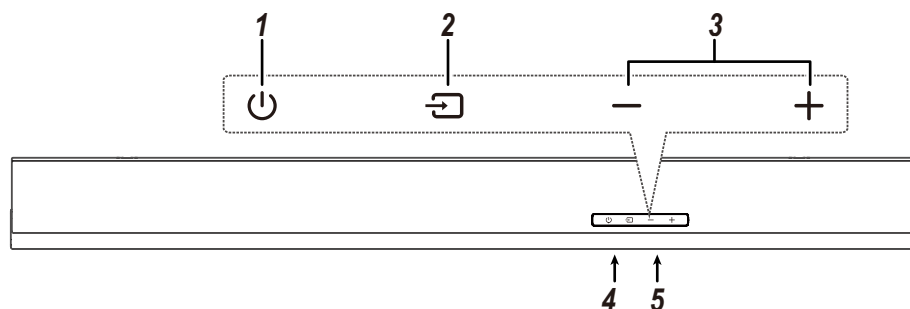
もくじ

各部のなまえ	3
バースピーカー	3
サブウーファー	5
リモコンのボタンと主な機能	6
準備をする	7
テレビと本機を接続する	7
電源コードを接続する	8
サブウーファーのペアリング	9
テレビの設定	11
本機を操作する	14
基本操作	14
テレビのリモコンで本機を操作する	20
セットアップモードを使う	22
Bluetooth [®] 機器の音楽を聞く	25
USBメモリの音楽を聞く	27
対応フォーマット	29
本機で再生できる音声フォーマット	29
故障かな？と思ったとき	
一症状に合わせて解決法を調べる	30
本機が全く操作できなくなったとき	30
本機を初期化する	30
ライセンスおよび商標などについて	37

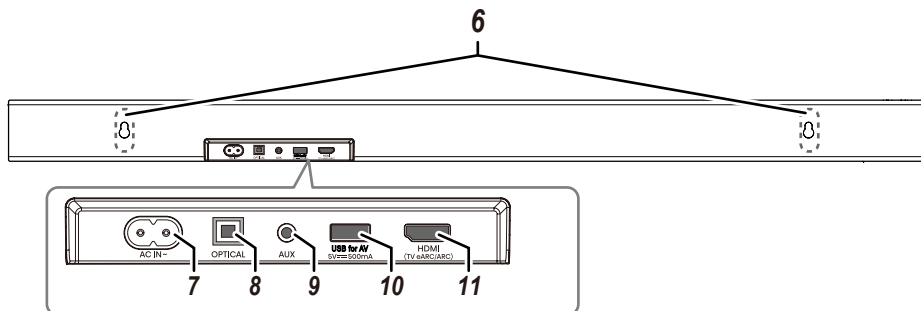
各部のなまえ

バースピーカー

上面



1. 電源ボタン
本機の電源をスタンバイ/入します。
2. 入力ソース切換ボタン
入力ソースを切り換えます。
3. 音量ボタン
音量を調節します。
4. リモコン受光部
リモコンからの信号を受信します。
5. 本体ディスプレイ
現在設定されているステータスを表示します。



6. 壁掛けブラケット用穴

本機を壁掛けで設置する場合に使用します。

7. 電源入力端子

付属の電源コードを接続します。

8. 光デジタル入力端子

市販の光デジタルケーブルを使用して外部機器を接続します。

9. AUX入力端子

市販の3.5mmオーディオケーブルを使用して外部機器を接続します。

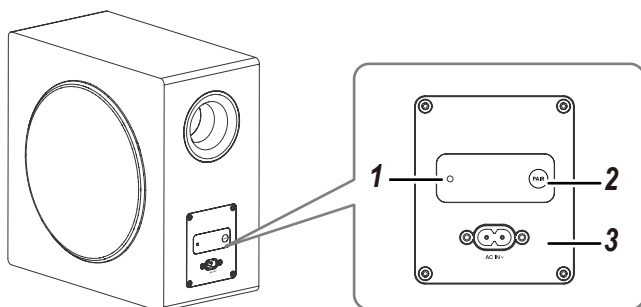
10. USB (AV周辺機器専用) 端子

USBメモリを接続し音楽ファイルを再生します。

11. HDMI出力端子(eARC/ARC)

付属のHDMIケーブルを使用してeARC/ARC対応のTVと接続します。

サブウーファー



1. ペアリングインジケーター

サブウーファーがベースピーカーをペアリング完了すると、点灯に変わります。

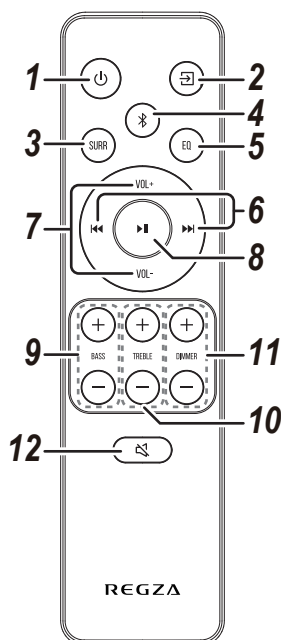
2. PAIRボタン

ベースピーカーとサブウーファーをペアリングさせるときに押します。

3. 電源入力端子

付属の電源コードを接続します。

リモコンのボタンと主な機能



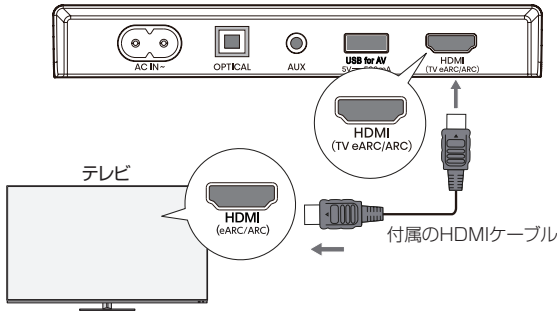
1. **⏻：電源ボタン**
本機の電源をスタンバイ/入します。
2. **⏮：入力ソース切替ボタン**
入力ソースを切り換えます。
3. **SURR：サラウンド切替ボタン**
サラウンドのオン/オフを切り換えます。
4. **✱(BT)：Bluetoothモード切替ボタン**
入力ソースをBluetoothに切り換えます。
長押しするとペアリングモードになります。
5. **EQ：サウンドエフェクト切替ボタン**
プリセットイコライザ(EQモード)を切り換えます。
6. **⏮/⏭：スキップボタン**
Bluetooth/USBモードでトラックの先頭にスキップします。
7. **VOL +/-：音量ボタン**
音量を調節します。
8. **▶||：再生ボタン**
Bluetooth/USBモードで再生/ポーズ/レジュームを行います。
3秒間長押しでセットアップモードに入ります。
9. **BASS +/-：BASS調整ボタン**
BASS (低音)レベルを調整します。
10. **TREBLE +/-：TREBLE調整ボタン**
TREBLE (高音)レベルを調整します。
11. **DIMMER +/-：明るさ調整ボタン**
本体ディスプレイの明るさを調整します。
12. **🔇：消音ボタン**
音を一時的に消します。もう一度押すと消音を解除します。

準備をする

テレビと本機を接続する

eARC/ARC対応のテレビと接続する場合

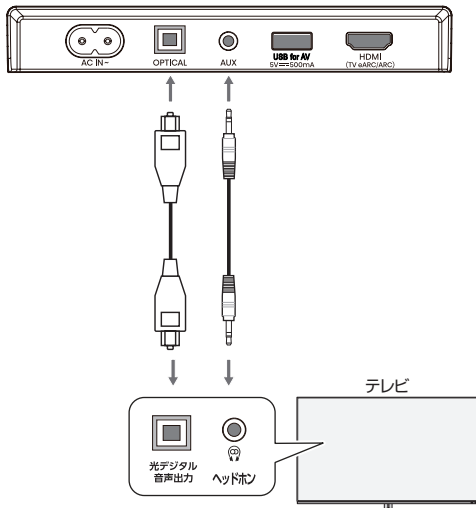
本機をeARC/ARC対応のテレビと接続することにより、テレビ音声の本機から出力できます。



- コネクターは奥までしっかりと差し込んでください。

テレビがeARC/ARCに対応していない場合

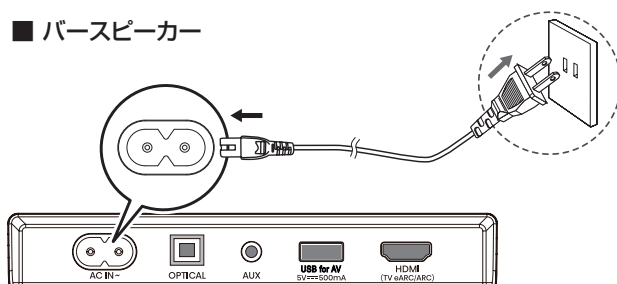
本機とテレビを光デジタル音声ケーブルまたは3.5mm音声用コードで接続することにより、テレビ音声の本機から出力できます。



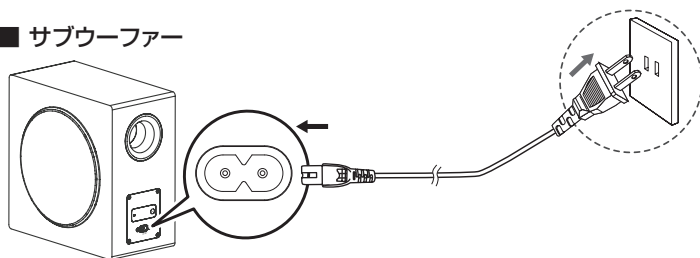
電源コードを接続する

電源コードを接続する前に、他のすべての接続が完了していることを確認してください。

■ バースピーカー



■ サブウーファー



- 電源コードは奥までしっかりと差し込んでください。
- 交流100Vのコンセントに根元まで確実に差し込んでください。
- 旅行などで長期間使用しないときは、安全のためコンセントから抜いてください。
- 電源コードは、本機の付属品を使用してください。
- 付属の電源コードは他の機器に使用しないでください。

サブウーファーのペアリング

自動ペアリング

ベーススピーカーとサブウーファーは、両方が電源に接続されると自動的にペアリングを行います。ベーススピーカーとサブウーファーをケーブルでつなぐ必要はありません。

接続状態を確認する

サブウーファーのインジケーターで、接続状況を確認できます。

LED の状態	接続状況
点滅	ペアリングモード/接続待機中。
点灯	接続済み/ペアリングに成功しました。
ゆっくり点滅	接続/ペアリングに失敗しました。

お知らせ

- 自動ペアリングに失敗した場合は、以下の操作で手動でペアリングを行ってください。
- 手動でペアリングするとき以外には、サブウーファー背面の**PAIR**ボタンを押さないでください。

手動でペアリングする

自動ペアリングができない場合は、手動でペアリングを行うことができます。

- 1** 全ての配線が接続されていて、バースピーカーがスタンバイ状態であることを確認します。
- 2** 本体またはリモコンの電源ボタンで電源を入れます。
- 3** 本体またはリモコンの入力切替ボタンを数秒間長押しします。
- 4** サブウーファーの背面のPAIRボタンを長押しします。
 - サブウーファーがペアリングモードになり、ペアリングインジケータが点滅します。
- 5** 接続が成功すると、インジケータが点滅から点灯に変わります。
 - インジケータがゆっくり点滅を続けている場合は、接続に失敗しています。
サブウーファーの電源ケーブルを抜いて4分間待った後、再度接続して手順1～4をやり直してください。

お知らせ

- バースピーカーとサブウーファーの電源が入っていて、接続に失敗している場合は、ペアリングインジケータがゆっくり点滅します。上記1～4の手順で再度ペアリングしてください。
- ペアリングに失敗する場合、
 - ・ 競合したり電波干渉する機器(他のBluetooth機器、電子レンジなど)が周囲にないか確認してください。
 - ・ サブウーファーがバースピーカーから6m以内にあり、障害物が無いか確認してください。

テレビの設定

本機はHDMI連動機能(レグザリンク)にて、テレビ(レグザ)のリモコンによって、音量調整やミュート(消音)、電源の連動などを行います。

- ※ これらの機能は他社製のテレビでも使える場合がありますが、動作を保証するものではありません。詳しくはお使いのテレビの取扱い説明書をご確認ください。

テレビ(レグザ)側で次の設定を正しくしないと、本機より音声が出力されません

- ※ テレビによっては表示される項目や操作などが異なります。詳しくはテレビの取扱説明書を参照してください。

テレビ(レグザ)のデジタル音声出力の設定について

本機と接続したテレビ(レグザ)の「デジタル音声出力設定」を「オート」に設定してください。

本機から音声が出ない、または正常に再生できない場合は、「PCM」に設定してください。

設定操作の一例

- 「オート」に設定する場合
【設定】を押し、「音声設定」→「音声詳細設定」→「デジタル音声出力」を「ビットストリーム」→「オート」に設定する。
 :ビットストリーム信号を最適なフォーマットで出力します。
- 「PCM」に設定する場合
【設定】を押し、「音声設定」→「音声詳細設定」→「デジタル音声出力」を「PCM」に設定する。
 :常にリニアPCM信号で出力します。ビットストリーム設定で音声が出力されないときにこの設定を選びます。

テレビ(レグザ)のeARC設定について

本機と接続したテレビ(レグザ)がeARCに対応している場合は、テレビ(レグザ)の「eARCモード」を「オン」(eARC有効)に設定してください。テレビによっては表示される項目や操作などが異なります。詳しくは本機と接続したテレビの取扱説明書もご覧ください。

設定操作の一例

【設定】を押し、「その他の設定」－「外部入力・HDMI 連動設定」－「HDMI 連動設定」－「eARCモード」を「オン」に設定する。

テレビ(レグザ)のHDMI 連動設定について

本機と接続したテレビ(レグザ)の「HDMI連動機能」を「使用する」に設定してください。

設定操作の一例

【設定】を押し、「省エネ・その他の設定」－「外部入力・HDMI 連動設定」－「HDMI 連動設定」－「HDMI 連動機能」を「使用する」に設定する。

- HDMI連動機器の接続、設定を変更した場合は以下の操作をしてください。
 - ・ 接続機器および本機の電源を入れ直してください。
 - ・ すべての接続機器の動作を確認してください。

テレビ(レグザ)の電源オン時優先スピーカー設定について

「電源オン時優先スピーカー」の設定を「オーディオシステム」にすることで、テレビの電源「入」に連動して本機の電源も自動的に「入」になり、本機から音が出るようになります。

設定操作の一例

【設定】を押し、「省エネ・その他の設定」→「外部入力・HDMI 連動設定」→「HDMI 連動設定」→「電源オン時優先スピーカー」を「オーディオシステム」に設定する。

：電源オンしたときにオーディオ機器のスピーカーから音声を出力します。

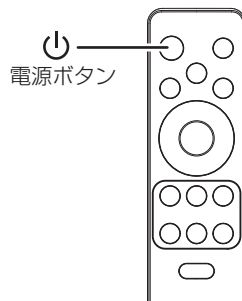
※ テレビ(レグザ)の機種によっては、「電源オン時優先スピーカー」は「優先スピーカー」と表示されたり、「オーディオシステム」は「サウンドシステムスピーカー」または「AVシステムスピーカー」と表示されたりする場合があります。詳しくは本機と接続したテレビの取扱説明書もご覧ください。

本機を操作する

基本操作

本機の電源を入れる

本機をコンセントに接続すると、本体がスタンバイ状態になります。



- 本体またはリモコンの 電源ボタン を押すと、本機の電源が入ります。
- もう一度 電源ボタン を押すと、スタンバイ状態に戻ります。
- 本機の電源を完全に切るには、電源プラグをコンセントから外します。

[自動スタンバイ]

本機への音声信号の入力が15分間検出されない場合、本機は自動でスタンバイ状態になります。

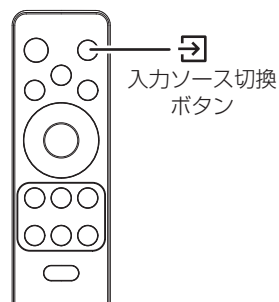
[自動起動]

本機が外部機器に接続されているときに本機へ音声信号が入力されると、音声信号の検知により本機の電源が自動で入ります。

- ※ ご使用になる状況によっては使用の妨げになることがあります。その場合はこれらの機能をオフにしてご使用ください。
( [「セットアップモードを使う」](#))

入力ソースを切り換える

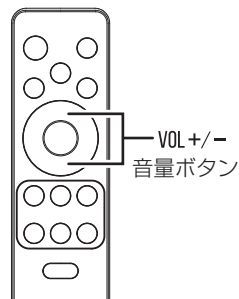
本体またはリモコンの (入力ソース切換) ボタンを押して、音声入力ソースを選択します。ボタンを押すごとに、以下のように切り換わります。



選択されている入力ソース	ディスプレイでの表示
AUX	AUX
USB	USB : USBメモリが接続されている場合 NO USB : USBメモリが接続されていない場合
HDMI eARC/ ARC	E-ARC : eARCに対応しているテレビが接続されている場合 ARC : 上記以外
光デジタル	OPT
Bluetooth	BT IN : Bluetooth®機器が接続されている場合 NO BT : Bluetooth®機器が接続されていない場合

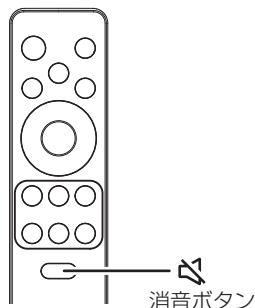
音量を調整する

- 本体またはリモコンのVOL+/VOL-ボタンを押して音量を調整します。
 - 音量を調整すると本体のディスプレイに「V (設定された音量値)」が表示されます。設定値が最大の時は「V MAX」、最小の時は「V MIN」と表示されます。



一時的に音を消す

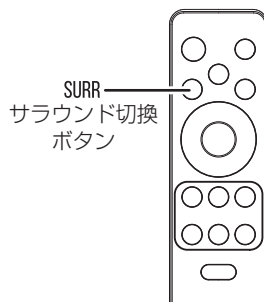
- ミュート(消音)状態にするには、リモコンの  (消音)ボタンを押します。  (消音)ボタンをもう一度押すか、本体またはリモコンのVOL+/VOL-ボタンを押してミュート(消音)状態を解除します。
 - ・ ミュート状態では本体のディスプレイに「MUTE」と表示されます。



サラウンド機能を使う

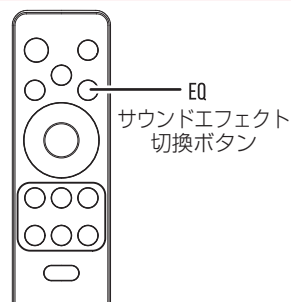
ステレオ音声に広がりを持たせます。

- リモコンのSURRボタンを押してサラウンドのON/OFFを切り換えます。
 - ・ 本体のディスプレイでは「SUR ON」もしくは「SUR OFF」と設定された内容が表示されます。



EQモードを切り換える

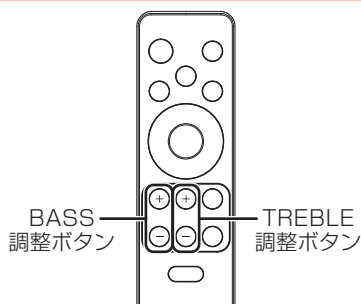
- リモコンのサウンドエフェクト切替ボタンを押して、MUSIC/MOVIE/NEWS/SPORT/NIGHT/GAME/の順にEQモードを切り換えます。
 - 本体ディスプレイにEQモードの名称が表示されます。
 - それぞれのEQモードの特徴は次の通りです。



EQモード	特徴
MUSIC	音楽を楽しむときに適した設定です。
MOVIE	映画を鑑賞するときに適した設定です。
NEWS	人の声を強調して、声を聴きやすくします。
SPORT	スポーツを楽しむときに適した設定です。
NIGHT	静かな環境で聴く標準的な設定です。
GAME	ゲームを楽しむときに適した設定です。

低音(バス) /高音(トレブル)レベルを調整する

- リモコンのBASS +/- ボタンを押して低音レベルを調整します。
 - 本体のディスプレイでは「BAS (設定された調整値)」が表示されます。
 - 調整範囲は-5～+5の11段階で調整できます。
- リモコンのTREBLE +/- ボタンを押して高音レベルを調整します。
 - 本体のディスプレイでは「TRE (設定された調整値)」が表示されます。
 - 調整範囲は-5～+5の11段階で調整できます。

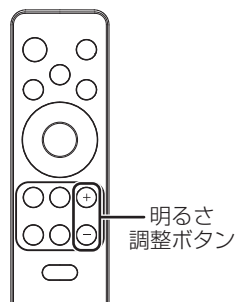


ディスプレイの明るさを調整する

- リモコンのDIMMER +/− ボタンを押して本体のディスプレイの明るさを調整します。
 - 明るさを調整すると本体のディスプレイの明るさは「H (明) / M (暗) / L (消)」の3段階で変化します。

ただし、「L (消)」に設定されている場合でも、操作を行ったときには、操作に必要な情報が「H (明)」の状態ではディスプレイに表示されます。

操作が終わると、数秒間が経過した後に、「L (消)」の状態に戻ります。



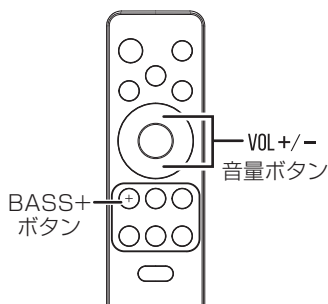
DTS DRC (ダイナミックレンジコントロール)の設定を切り換える

この機能はDTS DRC対応のDTS:X[®]コンテンツに限り有効となります。

コンテンツによっては効果を感じられない場合もあります。

- リモコンの**BASS +** ボタンを長押し (3秒以上) して設定モードに入ります。
 - 本体のディスプレイでは「DTS DRC (設定値)」が表示されます。

- ディスプレイに「DTS DRC (設定値)」が表示されている間にリモコンのVOL +/− ボタンを押して設定を変更します。
 - 設定は「HEAVY/MID/MIN」の3段階で調整できます。
 - お買い上げ時の設定は「MIN」になっています。

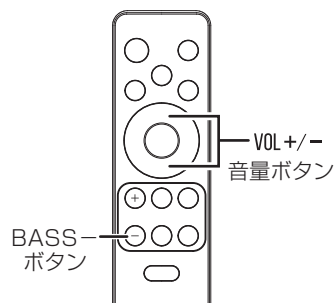


DTS ダイアログコントロールのレベルを調整する

この機能はDTS ダイアログコントロール対応のDTS:X[®]コンテンツに限り有効となります。

コンテンツによっては効果を感じられない場合もあります。

- リモコンの**BASS** ボタンを長押し
(3秒以上)して設定モードに入ります。
 - 本体のディスプレイでは「DCL (調整値)」が表示されます



- ディスプレイに「DCL (調整値)」が表示されている間にリモコンのVOL +/- ボタンを押して調整値を変更します。
 - 調整範囲は0 ～ 6の7段階で調整できます。
 - お買い上げ時の設定は「0」になっています。

テレビのリモコンで本機を操作する

- HDMI出力端子(eARC/ARC)に接続されたテレビ(レグザ)のリモコンで操作します。
- ※ テレビによっては、操作や表示される項目などが異なります。詳しくは本機と接続したテレビ(レグザ)の取扱説明書もご覧ください。
- ※ テレビ(レグザ)がHDMI連動機能(レグザリンク・コントローラ)に対応している必要があります。詳しくは[「故障かな? と思ったとき—症状に合わせて解決法を調べる」](#)をご覧ください。

テレビ(レグザ)のリモコンで本機の「音量調整」や「消音(ミュート)」ができます

テレビと本機の電源の状態が連動します

- テレビ(レグザ)の電源を「入」状態にすると自動的に本機の電源が入ります。
- テレビ(レグザ)の電源を「切(待機)」状態にすると自動的に本機がスタンバイ状態になります。



テレビ(レグザ)のリモコン例

テレビ(レグザ)のリモコンと画面で本機の設定を変更することができます(レグザサウンドシステム設定)

本機のEQモードやサラウンドなどの設定を、テレビ(レグザ)に表示されるメニューに従って変更することができます。

- 設定できる項目や画面表示の構成は、テレビ(レグザ)によって異なります。
- ※ テレビ(レグザ)が本機の設定変更に対応している必要があります。詳しくは[「故障かな?と思ったとき一症状に合わせて解決法を調べる」](#)をご覧ください

テレビ画面例：本機とX8900Nシリーズを接続した場合

音声メニュー	EQモード	MOVIE	視聴するコンテンツに合わせて、お好みのEQモードを選びます。
立体音響	サラウンド	オン	
サウンドリマスター	高音レベル	0	
低音強調	低音レベル	0	
イコライザー	表示の明るさ	明るい	
オートボリューム	初期値に戻す	>	
クロストークリダクション			
レグザサウンドシステム設定			
音声詳細設定			

セットアップモードを使う

本機の各種設定を行うことができます。

- 1 電源入の状態、▶|| ボタン長押し(3秒以上)します

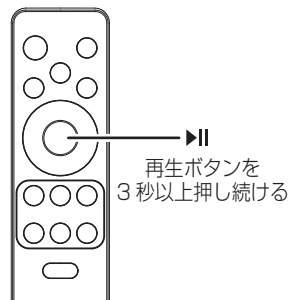
● セットアップモードに入ります。

- 2 ◀◀/▶▶ ボタンで設定する項目を選択します

- 3 VOL +/- ボタンでそれぞれの項目の設定値を変更します

- 4 本体ディスプレイで設定が変更された事を確認後、▶|| ボタンを押すとセットアップモードが終了します

● 10秒操作がない場合、セットアップモードは自動で終了します。



本体ディスプレイ表示 [◀◀/▶▶]で項目変更 □□には設定されている値が表示されます	調整内容 [Vol +/-]で値変更	お買い上げ時の設定
MOVIE	EQモードを下記の順で切り換えます(MUSIC, MOVIE, NEWS, SPORT, NIGHT, GAME)	MOVIE
SUR□□	サラウンドの設定[ON / OFF]を切り換えます。	OFF
BAS□□	Bass(低音)レベルを調整します。 範囲:-5~+5	0
TRE□□	Treble (高音)レベルを調整します。 範囲:-5~+5	0

本体ディスプレイ表示 [◀◀/▶▶]で項目変更 □□には設定されている値が 表示されます	調整内容 [Vol +/-]で値変更	お買い 上げ時 の設定
Brightness [□□]	本体ディスプレイの明るさを調整します。 H(明)／M(暗)／L(消)	H
AUTO WAKE [□□]	自動起動機能の設定[ON / OFF]を切り換えます。 自動起動機能の詳細については、 14 ページ をご覧ください。	OFF
AUTO STANDBY [□□]	自動スタンバイ機能の設定[ON / OFF]を切り換えます。 自動スタンバイ機能の詳細については、 14 ページ をご覧ください。	ON
NEURAL X [□□]	DTS Neural:Xの設定 [ON / OFF]を切り換えます。 DTS Neural:Xの詳細については、 24 ページ をご覧ください。	OFF
VIRTUAL X [□□]	DTS Virtual:Xの設定 [ON / OFF]を切り換えます。 DTS Virtual:Xの詳細については、 24 ページ をご覧ください。	OFF
SUB LEVEL [□□]	サブウーファアの音量レベルを調整します。 範囲: -2 ~ +2	0

DTS:Xの機能について

DTS:X® とDTSX® Virtual:X™テクノロジーは、ユーザーにバーチャルマルチチャンネルによるバーチャルサラウンド効果を生成し、感動的な音響体験を作り出します。

DTS Neural:X

DTSサラウンドを適用し、バーチャルマルチチャンネルを生成します。

DTS Virtual:X

DTSバーチャル3Dサラウンドを適用し、より立体的なサラウンド空間を作り出します。

Bluetooth®機器の音楽を聞く

スマートフォンやタブレットなど、Bluetooth®機器の音楽をワイヤレスで楽しむことができます。

Bluetooth®機器とペアリング(登録)する

Bluetooth®機器の音声を本機で再生するにはペアリング(機器登録)する必要があります。

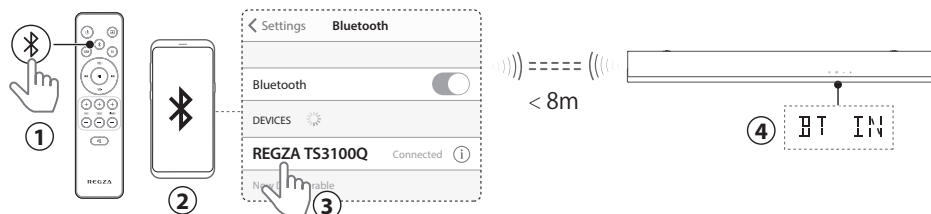
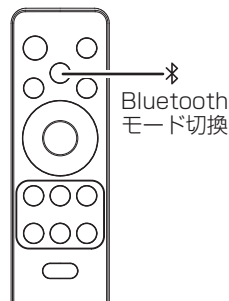
1 本体の  ボタンまたはリモコンの※(BT)ボタンを押して音声入力をBluetoothに切り換えます

2 Bluetooth®機器のBluetoothの設定画面を開き、ペアリングする機器を検索します

3 お使いのBluetooth®機器側の検索した機器リストから、REGZA TS3100Qを選択します

● REGZA TS3100Qが表示されない場合は、リモコンの※(BT)ボタンを押し続けて再検索してください。

4 ペアリングが成功すると、本体ディスプレイに「BT IN」と表示されます



- ペアリングを行う際に、Bluetooth®機器側でパスワードの入力を要求された場合は、パスワードに「0000」を入力してください。
- 3分以内に他の Bluetooth®機器とのペアリングがない場合、ペアリング動作を中止し、ペアリング操作直前の状態に戻ります。
- 本機は10台までのBluetooth機器を登録することができます。11台目のBluetooth機器がペアリングされると、1台目の機器が上書きされます。

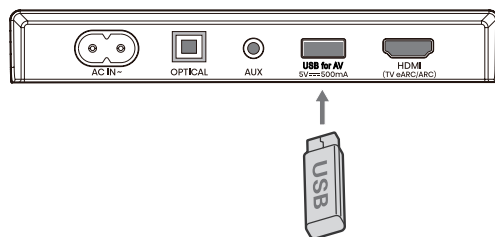
ペアリング済みのBluetooth®機器から音楽を再生する

- 1 本体の  ボタンまたはリモコンの  (BT) ボタンを押して音声入力をBluetoothに切り換えます
- 2 Bluetooth®機器側でBluetoothの設定画面を開き、表示された機器リストの中から機器名 REGZA TS3100Q を選んで接続します
- 3 Bluetooth®機器側を操作して、再生を開始します
 - 接続するBluetooth®機器がAVRCP (リモートコントロールプロファイル) に対応している場合、本機のリモコンを使用して、次のような再生コントロールができます。
 - ・再生を一時停止/再開するには、リモコンの  ボタンを押します。
 - ・トラックをスキップするには、リモコンの  ボタンを押します。
 - 同時に接続できるBluetooth®機器の台数は1台のみです。接続したいBluetooth®機器を接続する前に、他のBluetooth®機器が接続されてしまっている場合、ディスプレイにはBT_INと表示されます。すでに接続されている機器との接続を解除してから接続したい機器との接続を行ってください。
 - Bluetooth®機器の操作については、機器側の取扱説明書に従ってください。

USBメモリの音楽を聞く

USBメモリの音楽を再生する

- 1 USBメモリをベースピーカー背面のUSB端子に挿入します
- 2 本体またはリモコンの  ボタンを押し、音声入力ソースをUSBに切り換えます
- 3 再生中はリモコンを使用して再生をコントロールすることができます
 - 再生を一時停止または再開するには、リモコンの  ボタンを押します。
 - 前/次のファイルにスキップするには、リモコンの  ボタンを押します。



- 本機では以下の音声ファイル形式が再生できます。
WAV/WMA/MP3/FLAC
 - ※ ファイルフォーマット、ファイルエンコーディング、記録状態によっては、ファイルを再生できないことがあります。
 - ※ パソコンで編集されたファイルは再生できないことがあります。
 - ※ ファイルによっては早送り／早戻し再生ができないことがあります。
 - ※ ロスレスやデジタル著作権管理(DRM)などでコード化されたファイルは再生できません。
- USBメモリの容量は最大32GBまで対応しています。
- USBメモリのファイルシステムは次のものに対応しています。
FAT16 / FAT32

ご注意

- すべてのUSBメモリとの互換性を保証するものではありません。
- USB延長ケーブル、USBハブ、または USB多機能カードリーダーなどを使用する場合、USBメモリを認識できないことがあります。
- USBメモリはスタンバイ状態にして取り外してください。

対応フォーマット

本機で再生できる音声フォーマット

フォーマット	入力端子			本体ディスプレイでの表示
	光 デジタル	HDMI 出力 (ARC)	HDMI 出力 (eARC)	
LPCM 2ch	●	●	●	PCM AUDIO
LPCM 5.1ch	—	—	●	PCM AUDIO
LPCM 7.1ch	—	—	●	PCM AUDIO
Dolby Atmos - Dolby TrueHD	—	—	●	DOLBY ATMOS
Dolby Atmos - Dolby Digital Plus	—	●	●	DOLBY ATMOS
Dolby TrueHD	—	—	●	DOLBY AUDIO
Dolby Digital Plus	—	—	●	DOLBY AUDIO
Dolby Digital	●	●	●	DOLBY AUDIO
DTS	●	●	●	DTS
DTS-ES Discrete 6.1	●	●	●	DTS
DTS-ES Matrix 6.1	●	●	●	DTS
DTS 96/24	●	●	●	DTS
DTS-HD High Resolution Audio	—	—	●	DTS-HD
DTS-HD Master Audio	—	—	●	DTS-HD
DTS:X	—	—	●	DTS:X

●：対応しているフォーマット

—：対応していないフォーマット

故障かな？と思ったとき

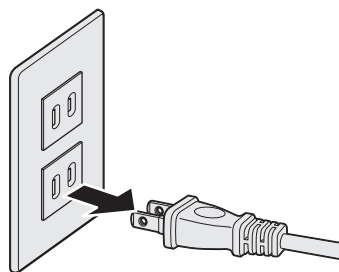
—症状に合わせて解決法を調べる

- 本機が正しく動作しないなどの症状があるときは、以降の記載内容から解決法をお調べください。
- 解決法の対処をしても症状が改善されない場合は、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店にご相談ください。
- 表の「」の欄は関連事項が記載されているページです。

本機が全く操作できなくなったとき

- 接続機器が認識されないなどの場合や、リモコンや本体のボタンでも操作できなくなった場合は、以下の操作をお試ください。

- 1 電源プラグをコンセントから抜く
- 2 3分間以上待つ
- 3 電源プラグをコンセントに差し込んで、電源を入れる



本機を初期化する

- 本機の動作がおかしいと思われる場合、初期化することで症状が改善されることがあります。
- 1 リモコンまたは本体のボタンを押して、音声入力を「OPT」に切り換えます
 - 2 本体の電源ボタンを5秒以上押し続けます
 - 本機が初期化され、電源スタンバイ状態になります。
 - 3 電源コードをコンセントと本体から抜き、3分間そのままでお待ちください
 - 4 電源コードをコンセントと本体に再度接続し、電源を入れてください

症状	確認すること	解決方法・その他
操作	電源が入らない	⇒電源プラグをコンセントに差し込みます。
	電源コードが本体から抜けていませんか。	⇒電源コードのコネクターを本機の電源入力(AC IN)端子に接続します。
	本機のリモコンで操作できない	⇒新しい乾電池に交換します。
	リモコンの乾電池の向き(+、-)が合っていますか。	⇒向き(+、-)を確認し、正しく入れてください。
	リモコンと本機のリモコン受光部の間に障害物がありますか。	⇒障害物を取り除きます。リモコン受光部の位置は、本書の「各部のなまえ」でご確認ください。
	本体のボタンでは操作ができますか。	⇒上記の対処をした上で、なおリモコンだけで操作ができない場合は、リモコンの故障が考えられます。
	テレビのリモコンで操作できない	⇒付属のHDMI ケーブルで正しく接続します。 ※はじめてHDMI 連動機器を接続したときや、接続を変更したときには、すべての機器が連動しているか確認してください。
	テレビはHDMI連動機能(レグザリンク・コントローラ)に対応していますか。	⇒テレビが対応しているか確認してください。レグザの最新情報はホームページ(https://www.regza.com/support)でお知らせしています。 ※対応機器の場合でもすべての操作ができるわけではありません。
	テレビのHDMI連動機能の設定は正しいですか。	⇒接続されているテレビ側のHDMI 連動設定を確認します。(機器の取扱説明書を参照してください)

	症状	確認すること	解決方法・その他
操作	テレビのリモコンで操作できない	テレビ(レグザ)は「レグザサウンドシステム設定」に対応していますか。	⇒ テレビ(レグザ)の最新情報はホームページ(https://www.regza.com/support)でお知らせしています。 ※ 対応機器の場合でもすべての操作ができるわけではありません。
	Bluetooth®機器で本機の名前が見つからない/ペアリングできない	本機とBluetooth®機器の距離が離れていませんか。	⇒ 本機とBluetooth®機器の距離を1m以内に近づけてください。 ⇒ 本機とBluetooth®機器の間に障害物がある場合は、障害物を取り除いてください。 ⇒ 無線LANや他の2.4 GHz無線機器や電子レンジなどの影響を受けていないか確認してください。
	入力切替やEQモードが変更できない	本機がデモモードに入ってしまった可能性があります。	⇒ デモモードを解除するには、以下の手順で操作する必要があります。 1 本体の入力ソース切替ボタン(📺)と音量ーボタンを同時に3秒間押し続けてください 2 本体のディスプレイにDEMO OFFと表示されることを確認してください。 DEMO ON と表示された場合は、再度本体の入力ソース切替ボタン(📺)と音量ーボタンを同時に3秒間押し続け、本体のディスプレイにDEMO OFFと表示されることを確認してください。

症状		確認すること	解決方法・その他
音声	音声が出ない	音量が最小になっていませんか。	⇒ リモコンまたは本体の音量ボタンで音量を上げます。
		消音ボタンが押されていませんか。	⇒ リモコンの消音ボタンを押すと消音を解除できます。(音量ボタンでも解除されます)
		機器が正しく接続されていますか。	⇒ 本機と機器との接続を確認します。接続に問題がない場合、ケーブルの異常かもしれません。お手持ちのほかのケーブルで、再度接続してみてください。
		入力ソースは正しく選択されていますか。	⇒ 本体またはリモコンの(入力ソース切換)ボタンを押して、出力したい音声を選択します。 AUX→USB→HDMI eARC(ARC)→光デジタル→Bluetooth の順に音声入力ソースが切り換わります。
	テレビの音声が本機から出ない	機器が正しく接続されていますか。	⇒ テレビとHDMI接続する場合は、本機のHDMI出力端子(eARC/ARC)とテレビのeARC/ARCに対応したHDMI端子に接続してください。接続したHDMI入力端子がeARC/ARCに対応していない場合、テレビの音声を本機からHDMI連動機能で出力することはできません。AUXまたは光デジタルで接続してください。

症状		確認すること	解決方法・その他
音声	テレビの音声が本機から出ない	テレビの音声出力の設定は正しいですか。	⇒本機とHDMI接続したテレビ(レグザ)のデジタル音声出力設定を「オート」に設定してください。なおも本機から音声が出ない、または正常に再生できない場合は、「PCM」に設定してください。テレビによっては表示される項目や操作などが異なります。 ⇒本機とHDMI接続したテレビ(レグザ)に「オーディオシステム音質連動」設定機能がある場合、「連動しない」以外を選択してください、「連動しない」に設定されている場合、本機からテレビの音声は出力されません。 詳しくはテレビの取扱説明書を参照してください。
		テレビのスピーカー切り換えの設定は正しいですか。	⇒本機のスピーカーから出力する場合は、テレビのスピーカー切り換えを「オーディオシステム」に設定してください。

症状	確認すること	解決方法・その他
音声	本機から出るテレビの音声と映像にズレがある	⇒ 本機には音声の遅延量設定機能があります。設定値を変更して改善するかお試しください。 ※ お使いのテレビにデジタル音声の出力タイミングを調整できる機能がある場合は、タイミングを調整することで改善されることがあります。詳しくはテレビの取扱説明書を参照してください。
	テレビからDolby True HD、Dolby Atmosフォーマットの音声が入正しく出力されない	⇒ 本機とHDMI接続したテレビ(レグザ)の「eARCモード」がオンになっていることを確認してください。
HDMI連動	テレビの電源を切(待機)にした時に、本機の電源がスタンバイ状態にならない	⇒ 本機と接続したテレビのHDMI連動設定を確認してください。 設定の一例 HDMI連動機能: 使用する テレビ→連動機器電源オフ: 連動する ※ テレビによっては、操作方法や表示される項目が異なります。詳しくは本機と接続したテレビ(レグザ)の取扱説明書をご覧ください。

	症状	確認すること	解決方法・その他
HDMI 連動	テレビの電源を「入」にしても、本機の電源が自動で「入」にならない	テレビのHDMI連動設定は正しく設定されていますか。	⇒ 本機と接続したテレビのHDMI連動設定を確認してください。 設定の一例 HDMI連動機能： 使用する 電源オン時優先スピーカー： オーディオシステム ※ テレビによっては、操作方法や表示される項目が異なります。詳しくは本機と接続したテレビ(レグザ)の取扱説明書もご覧ください。
	機器を接続しても連動ができない	接続は正しいですか。	⇒ HDMI口ゴ表示のついた規格に合ったHDMIケーブルで正しく接続します。 ※ はじめてHDMI連動機器を接続したときや、接続を変更したときには、すべての機器が連動しているか確認してください。 ⇒ 光デジタルのケーブルを接続しただけでは連動しません。HDMI ケーブルを接続してください。

ライセンスおよび商標などについて

Dolby Atmos

この製品はドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。
Dolby、Dolby Atmos及びダブルD記号はドルビーラボラトリーズライセンシング
コーポレーションの商標です。
非公開機密著作物。著作権 2012-2024年ドルビーラボラトリーズ。不許複製。



FOR DTS PATENTS, SEE [HTTP://XPERI.COM/DTS-PATENTS/](http://xperi.com/dts-patents/).
MANUFACTURED UNDER LICENSE FROM DTS, INC. AND ITS AF-
FILIATES. DTS, DTS:X, THE DTS:X LOGO, VIRTUAL:X, AND THE DTS
VIRTUAL:X LOGO ARE REGISTERED TRADEMARKS OR TRADE-
MARKS OF DTS, INC. AND ITS AFFILIATES IN THE UNITED STATES
AND/OR OTHER COUNTRIES. © DTS, INC. AND ITS AFFILIATES. ALL
RIGHTS RESERVED.



Bluetooth® ワードマークおよびロゴは登録商標であり、Bluetooth SIG, Inc.
が所有権を有します。TVS REGZA株式会社は使用許諾の下でこれらのマーク
およびロゴを使用しています。その他の商標および登録商標は、それぞれの所有
者の商標および登録商標です。



HDMI、HDMI High-Definition Multimedia Interface、HDMIのトレードドレスお
よび HDMIのロゴは、HDMI Licensing Administrator, Inc.の商標または登録商
標です。

その他、取扱説明書に記載されている社名・商品・サービス名などは、それぞれ各
社が商標として使用している場合があります。

この製品に含まれているソフトウェアをリバース・エンジニアリング、逆アセンブル、逆コンパイル、分解またはその他の方法で解析、及び変更することは禁止されています。

この製品に組み込まれたソフトウェアコンポーネント、その著作権表示および許諾表示は次の通りです。

FreeRTOS Kernel V10.4.3

Copyright (C) 2020 Amazon.com, Inc. or its affiliates. All Rights Reserved.

Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a copy of this software and associated documentation files (the "Software"), to deal in the Software without restriction, including without limitation the rights to use, copy, modify, merge, publish, distribute, sublicense, and/or sell copies of the Software, and to permit persons to whom the Software is furnished to do so, subject to the following conditions:

The above copyright notice and this permission notice shall be included in all copies or substantial portions of the Software.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT. IN NO EVENT SHALL THE AUTHORS OR COPYRIGHT HOLDERS BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.